

### 新型コロナワクチン接種体制縮小

問 母子保健担当

三芳町では10月下旬に8割以上の町民が新型コロナワクチンの2回目接種を終える見込みです。また、現在、新規のワクチン接種予約が減少していることから、10月下旬以降のワクチン接種については、規模を縮小して実施します。ワクチン接種を希望する人は早めの予約をご検討ください。

#### ▼ワクチンの効果的接種のために

1回目接種後に2回目の予約をキャンセルした場合、標準的な接種間隔(ファイザー社製ワクチンの場合3週間)を大きく越えてしまう場合があります。やむを得ない場合以外はキャンセルをされないようにご協力をお願いします。

※標準的な接種間隔を越えてしまっても接種ができなくなるわけではありません。  
※三芳町の医療機関で使用しているワクチンはすべてファイザー社製です。



#### ▼三芳町新型コロナワクチン予防接種履歴の再発行

新型コロナワクチン接種済証を紛失した人は下記まで問合せ。

■ 三芳町新型コロナワクチン接種コールセンター  
受付時間：月～金曜日 9:00～16:00  
☎:049-293-6636 FAX:049-293-8665

### はじめての離乳食(離乳食教室)

無料

※新型コロナウイルスの影響で事前に周知している講座から個別相談に変更します。

赤ちゃんにあげるはじめてのごはん。「食べない」、「硬さは?」、「形状は?」など、離乳食についての疑問を管理栄養士と一緒に解決していきます。

▶日時: 11/24(水) 9:30/10:00/10:30/11:00 各回30分

▶場所: 保健センター

▶対象: おおむね生後4～5か月のお子さんをもつ保護者

▶申込み: 11/22(月)までに電話・メール・FAXで①母の名前、②住所、③電話番号、④子の名前、生年月日、⑤メールアドレスを伝えて母子保健担当へ申し込み。

※FAXとメールの場合は件名を「離乳食相談申し込み」に。



### ノロウイルスに気をつけましょう

問 朝霞保健所 ☎048-461-0468

ノロウイルスによる食中毒は、1年を通して発生していますが、特に冬場(11月～3月)に増える傾向があります。ノロウイルスは口から体内に入ることによって感染し、1～2日の潜伏期間の後、下痢・嘔吐・腹痛などの症状が現れます。予防するために次の点に注意しましょう。

#### — 注意点 —

- ①手洗いをこまめに行う  
調理・食事前、トイレ後は手洗い。2度洗いが効果的です。
- ②食器・調理器具などは十分に洗浄・消毒  
塩素系洗剤が有効です。
- ③食品は中心部まで十分に加熱  
85～90℃で90秒以上。
- ④汚染された場所はマスクや手袋をして消毒  
便や嘔吐物からの感染を防ぎましょう。

### はじめて子育て講座「ほっとサークル」

無料

～きんもくせいコース～ 問 母子保健担当

「こんな悩みは私だけ?」「近所で友達が欲しいな」というママ。赤ちゃんとふれあひながら、子育てについて一緒に考えていきませんか。

	1日目	2日目
日程	12/15(水)	12/24(金)
時間	10:00～11:30	
場所	藤久保公民館 和室	
内容	・ママ同士の交流会 ・とことこ三芳町探検～三芳町を知ろう～	リラックス講座
持ち物	母子健康手帳、筆記用具、バスタオル、おむつやミルクなど赤ちゃんの使うもの	

▶対象 令和3年9・10月生まれの子どもと保護者  
▶定員 8組(先着順)

#### ▼申込み

①件名「子育て講座申込み」②ママの氏名③住所④電話番号⑤子どもの氏名⑥子どもの生年月日⑦第何子の子どもかを明記して、電話・FAX・メールで母子保健担当まで申し込み。

下記のイベント会場は全て中央図書館

申込みは中央図書館へ(先着順・電話可)。すべて無料。

### としょかん・クリスマス会

内容 人形うた、大型絵本、パネルシアター、ストーリーテリングなど。楽しく本を紹介。

会場 中央図書館 視聴覚室 定員 各回先着20人

申込み 11/16(火)10:00から申込受付。「入場券」を渡します。電話受付可(開館日のみ)。

※申し込みをしていない人の当日参加は、原則としてできません。予めご了承ください。

※当日は、受付で検温等がございますので、時間に余裕をもってお越しください。

#### ■5歳～小学生の部

※小学生以上は、付き添い参加をご遠慮ください。

12/18(土) ①10:30～11:30(受付10:15～)  
②13:30～14:30(受付13:15～)

#### ■2～4歳～小学生の部

※必ず保護者同伴をお願いします。(対象年齢の子ども1人につき、付き添いの大人1人まで申込可。)

12/19(日) ③10:30～11:00(受付10:15～)  
④11:30～12:00(受付11:15～)



※ご注意ください! /

11/23(火・祝)、中央図書館・竹間沢分館は臨時休館です。

## みよし 歴史 探訪

文化財保護課 ☎258-16655

### れきしとくらし 第八回 十日夜

「十日夜」は、「亥の子」「オイノコサマ」とも呼ばれ、田畑でとれた農作物の収穫を祝うために旧暦の十月十日に行われていた年中行事です。田畑の神様に収穫できたことを感謝し、来年の豊饒を祈ってボタ餅などをお供えます。そして夜に子供たちがワラを芯にして、ワラ縄を巻いて作ったワラ鉄砲を持って、「トウカンヤ、トウカンヤ」などと唱え、地面を叩いて回りました。十日夜を上富では十月九日に、藤久保・北永井では、十月十日に行われておりました。その日はボタ餅を作り、家の中にあるすべての神棚にお供えします。そして、小学生くらいの子ども達が集まって、ワラ鉄砲を持ち、畑などを「ココノカンヤ、トウカンヤ、イノコのボタモチ生でも食える」などと唱え、地面をワラ鉄砲で叩きながら回りました。これをするので、作物を荒らすモグラなどを追い払うことができ、立派に作物が育つといわれていました。また上富では、柿や栗の木の下でワラ鉄砲を叩いたという話も聞きました。

竹間沢では、「亥の子のボタモチ」

もしくは、「イネコのボタモチ」と言いました。前号の第七回にお話ししたオカマサマには、三十一人の子どもがおり、その一人にイネコという娘がおります。その娘は足が悪く、一緒に出雲に行けないことをかわいそうに思い、十月十日にボタ餅を作り、オカマサマの神棚にお供えしていました。藤久保や北永井などと違い、ワラ鉄砲を行わず、オカマサマの神棚のみにお供えをしました。

十日夜は冬の季節に使用されるほど、昔から親しまれていた行事です。ワラ鉄砲を持った子供たちの「トウカンヤ、トウカンヤ」と唱える声は初冬の風物詩だったのでしよう。



▲ワラ鉄砲で地面を叩いている様子



▲ワラ鉄砲